

# 159.DLBCLに対する自家末梢血幹細胞移植の後方視的検討

## 研究の概要

自家末梢血幹細胞移植(Auto-PBSCT)は再発・難治DLBCLに対して標準的な治療方法です。Upfrontでの実施には議論がありますが、高リスク症例に対しては有効である可能性も報告されています。一方でAuto-PBSCT後の再発は極めて予後不良です。当院でDLBCLに対しAuto-PBSCTを実施した症例について後方視的解析を計画しました。

## 研究の目的と方法

2010年1月1日から2020年12月31日までの間に当院でAuto-PBSCTを施行したDLBCLの患者様を対象とします。カルテデータを元に後方視的に解析することによって、疾患種類、疾患リスク、前処置などが予後に与える影響を検討します。Auto-PBSCTの経過を詳細に解析することにより、今後のDLBCL治療の成績向上に寄与することが期待されます。

## 本研究の参加について

本研究により患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。

本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございました際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

## 調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存のカルテデータ（問診記録、身体所見、検査データ）を用いて実施する研究です。研究対象者（患者様）の個人情報（氏名、住所、電話番号）は記載せず、個人情報は特定されません。

## 調査期間

研究期間：当院倫理委員会承認日～2022年4月30日（調査対象期間：2010年1月1日～2020年12月31日）

## 研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

## 研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 血液内科 窪田 晃

## 当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 血液内科 窪田 晃

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 血液内科 窪田 晃

電話 096-353-6501